

嶺南で「世界少年野球大会」を開催

西川知事に王貞治さんが協力を要請

今年8月、嶺南各地を会場に「世界少年野球大会福井大会」を開催します。この成功に向け、県とともに主催する(財)世界少年野球推進財団の理事長・王貞治さんが、3月4日(月)に県庁で、西川知事に協力を要請しました。

大会期間中には、世界15か国・地域の子どもたちを対象とした野球教室のほか、台湾、韓国と、地元嶺南の少年野球チームの交流試合を実施します。

加えて、県や嶺南6市町では、国内外の子どもたちに福井の文化、伝統への理解を深めてもらう交流行事も行う予定です。



カマラサウルス全身骨格を一般公開

「恐竜王国ふくい」がさらにパワーアップ



恐竜博物館(勝山市)で、これまで組上げ作業を進めてきた大型草食恐竜・カマラサウルスの全身骨格化石標本(実物)が、3月23日(土)に一般公開をスタートし、記念式典を開催しました。

平成21年にアメリカから約2億5千万円で購入した化石は、全身の約9割が残る世界的に貴重なものです。

春休みには、多くの親子連れが来館し、高さ6メートル、全長15メートルに達するカマラサウルスの本物の迫力に、大きな驚きを感じている様子でした。

中部縦貫自動車道の勝山・大野間が開通

奥越のさらなる発展に大きな期待



中部縦貫自動車道の勝山・大野間が3月24日(日)に開通し、記念式典が開かれました。

西川知事は、「一日も早い全線開通を期待したい」と述べ、奥越の地域振興、産業活性化や、災害時の緊急交通路として重要な役割を果たす同道路の整備効果に大きな期待を示しました。

また、開通に先立つ同17日(日)には、中部縦貫自動車道ハイウェイウォークを開催。参加した約2千名が、7.8キロメートルに及ぶ道のりからの景色を楽しみながら、開通を祝いました。

「並行在来線対策協議会」を設置

北陸新幹線の敦賀開業に向け準備着々

北陸新幹線の敦賀開業時に、JRから経営分離される並行在来線(北陸本線)について、通勤・通学に欠かせない地域鉄道としての存続に向け、3月29日(金)に「並行在来線対策協議会」を設置しました。

今後、協議会で、経営形態やダイヤ編成など列車の運行形態等について、先行事例も参考にしながら、利用者の利便性確保を第一に検討を進めます。

また、北陸新幹線建設事業については、中心線測量の実施や新北陸トンネルの着工、県道と一体工事で計画している九頭竜川橋りょうの設計に向けた準備が着々と進められています。

